

令和8年度 第1回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 当事者活動支援部会 議事録	
日時	令和8年4月15日(水) 17:30~18:30
開催場所	地域活動ホームゆめ ボランティアルーム
出席者	早坂(きてん)、加藤・誉田(ときわ虹の会)、竹内(当事者)、森岡(SMILE)、石井(生活SC)、田村(基幹相談)
欠席者	恵和めぐみ、パン工房ひかりば、スカイキング
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u>
議題	<p>① 今年度の計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初予定では、隔月開催にしていたが、現在の構成員の負担など考慮すると、実施計画を再考する必要があるのではないか ・半年に1回程度でよいのでは? ・8月に集まり、初夢まつりなどイベント企画を考える。 プラス情報交換の内容で実施していく ・8月、12月、2月の年間4回(4月会議も含め) → 決定 ・令和8年度部会の年間計画書 修正 → 早坂氏が作成し、協議会事務局へ提出する <p>② 当事者活動支援部会としての取り組みについて</p> <p>(現状認識、課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画上映は予算、マンパワー上難しい。 ・何を中心に据えるかを再検討する必要があるのでは ・障害理解の点では、プライバシー保護の問題がある(当事者からみると) <p>(こんな取り組みはどうか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントがよい(障害について、関心を持ってもらうため) → 誰をターゲットにするのかを絞る。当事者の声思やいを伝えたらどうか。 ・勉強会 → コロナの時に障害理解講座をZOOMで企画したことがある ・気軽に話せるカフェ的な集まりを作るなどは出来ないか <p>(当事者家族の意見として)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安障害を周囲に分かってもらうのが難しい。 障害の症状は人それぞれで、一口では言えない。 ・親として、同じような立場で話し合える情報交換の場がほしい ・重複(発達で精神の方)、特に女性当事者が話せる場がほしい 自閉で女性が少ない現状がある。 <p>◎8月定例会までに、今年度実施したい企画について各自考えてくる。 ◎11月のわいわいフェスタに参加するか、1月の初夢まつりに参加するかは</p>

企画の内容や、参加メンバーの希望次第でそれぞれの実行委員会に打診する予定。

③ 区政 100 周年の取り組みについて

- 当事者活動支援部会としては取り組まないが、個別に SMILE さんや虹の会さんなどに聞き取りをして、100 周年の企画は、早坂さん中心に進めていく
- 企画内容としては、当事者や家族の声を記録し、広く知ってもらうことを目的にする。

④ その他

- 当事者活動支援部会の HP 担当者＝石井さん（生活支援センター）
→石井さんは、議事録の HP 掲載および活動コラムの掲載、インスタグラム掲載を担当。自立協 HP の当事者活動支援部会の担当者は、生活支援センターの三文字さん
- 活動コラムは、竹内さんを書いてもらう（掲載時期は今後調整）
- 部会の問合せ先は、基幹相談支援センター田村が窓口。

次回：令和 8 年 8 月 19 日 17:30-18:30

場所：ほどがや地域活動ホームゆめ2F ボランティアルーム